

—くまもとの認知症支援体制は！？—

熊本県では「認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる熊本づくり」を目指し、医療、介護、地域支援の3つの柱を立て、認知症対策を総合的に推進する体制を作りつつあります。医療体制におきましては、認知症高齢者等の効果的な早期診断・診療体制を構築し、県民がより身近な病院で相談・治療を受けることが出来るよう、地域での拠点機能を担う「地域拠点型」7ヶ所と、県全体を総括する「基幹型」1ヶ所の2層構造（「熊本モデル」）として整備されました。

また、地域における認知症ケア体制と医療との連携体制を強化するために、認知症疾患医療センターに対応する「認知症対応強化型地域包括支援センター」が県内に7ヶ所設置され、平成21年10月に活動を開始しました。認知症対応強化型のセンターには、認知症連携担当者と嘱託医が配置され、認知症が疑われる人の早期発見や認知症の確定診断を受けた方への支援、地域におけるネットワーク体制の構築、さらに若年性認知症患者に関する支援、加えて地域での認知症啓発等を目的とした研修会等の開催を行っていきます。

そして地域支援体制には、認知症サポーター養成講座、認知症地域支援体制モデル事業などが整備されております。

下図に、県内の認知症対応強化型地域包括支援センターを示します。

認知症対応強化型地域包括支援センター

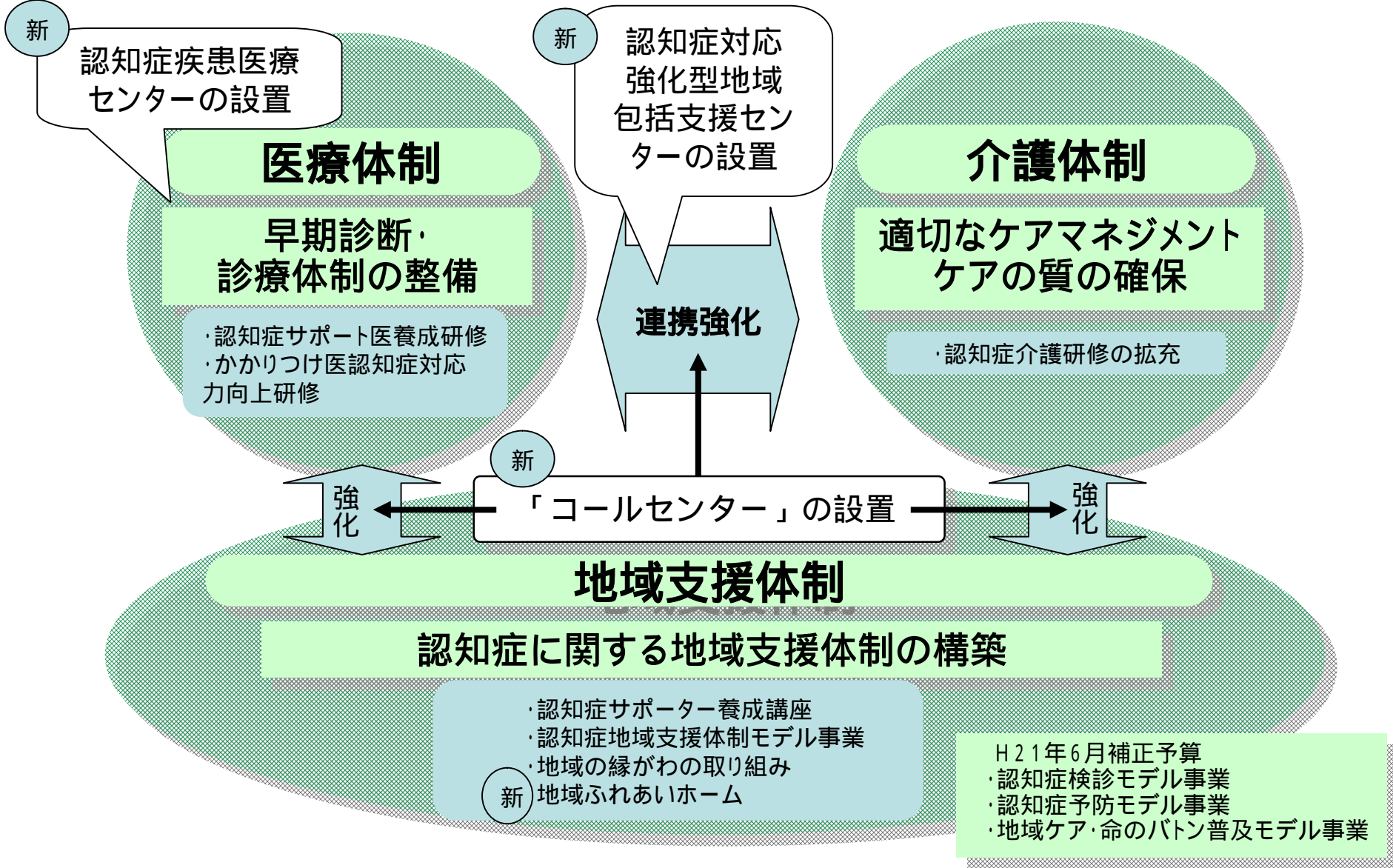
●平成21年10月 強化型地域包括支援センター5か所指定

- ・熊本市：熊本市中央4地域包括支援センター
やすらぎの森
- ・八代市：八代市地域包括支援センターあさひ園
- ・山鹿市：山鹿市地域包括支援センター
- ・阿蘇市：阿蘇市地域包括支援センター
- ・宇土市：宇土市地域包括支援センター

※天草市、益城町については年内指定に向けて準備中

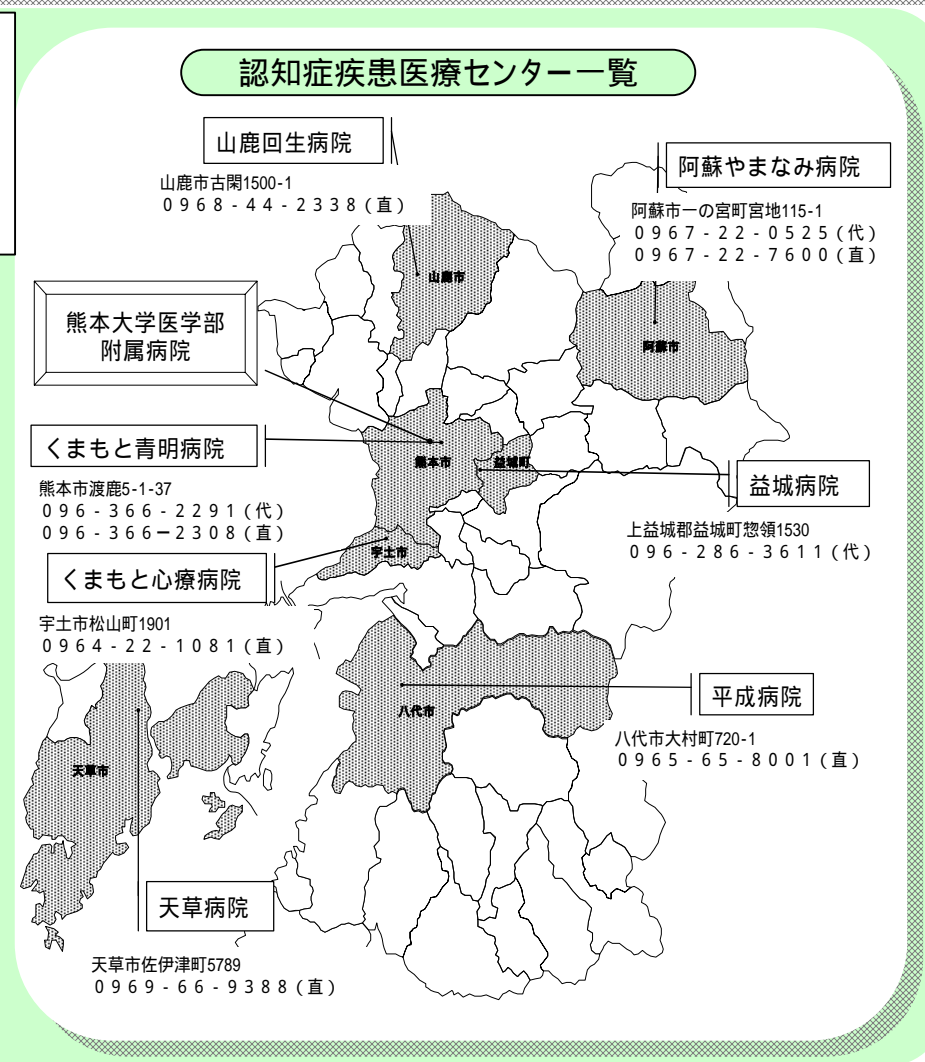
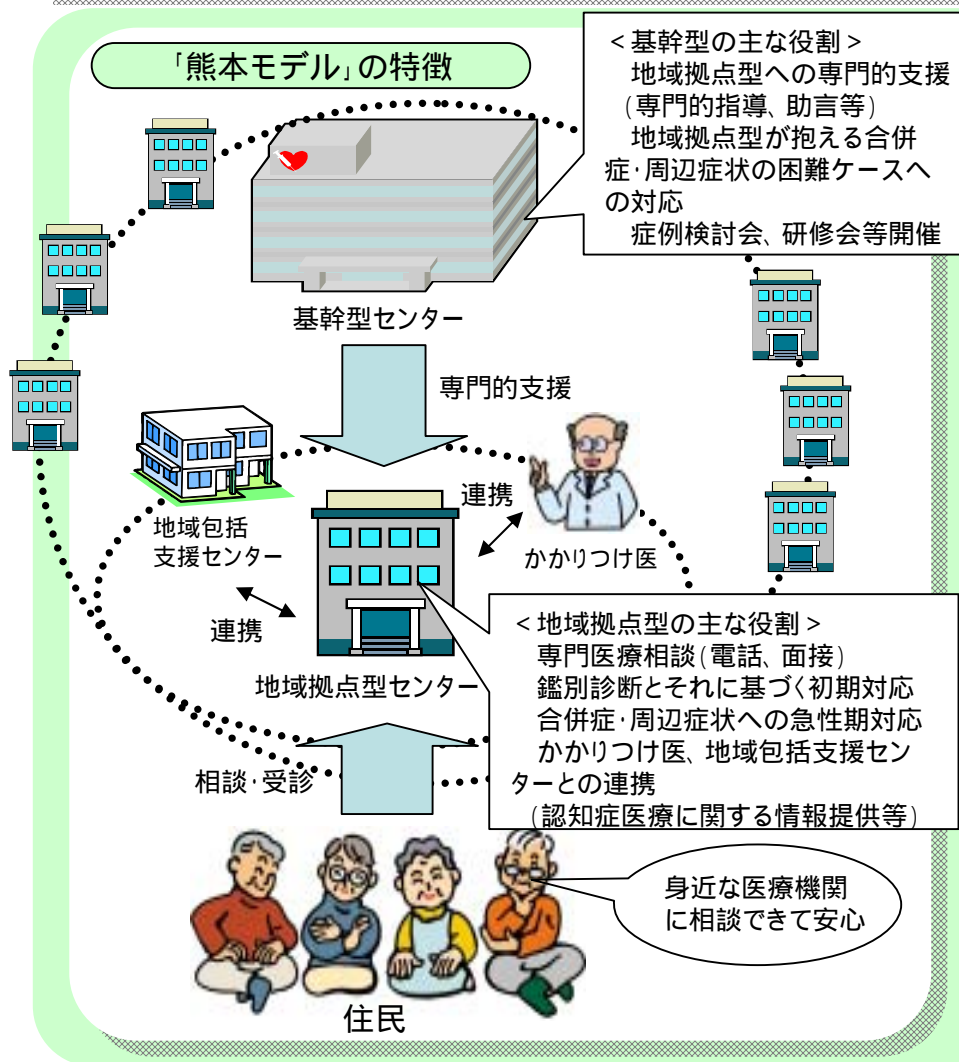
1 熊本県の認知症対策について

本県における認知症対策については、以下の3つの柱を立て、総合的に推進する。



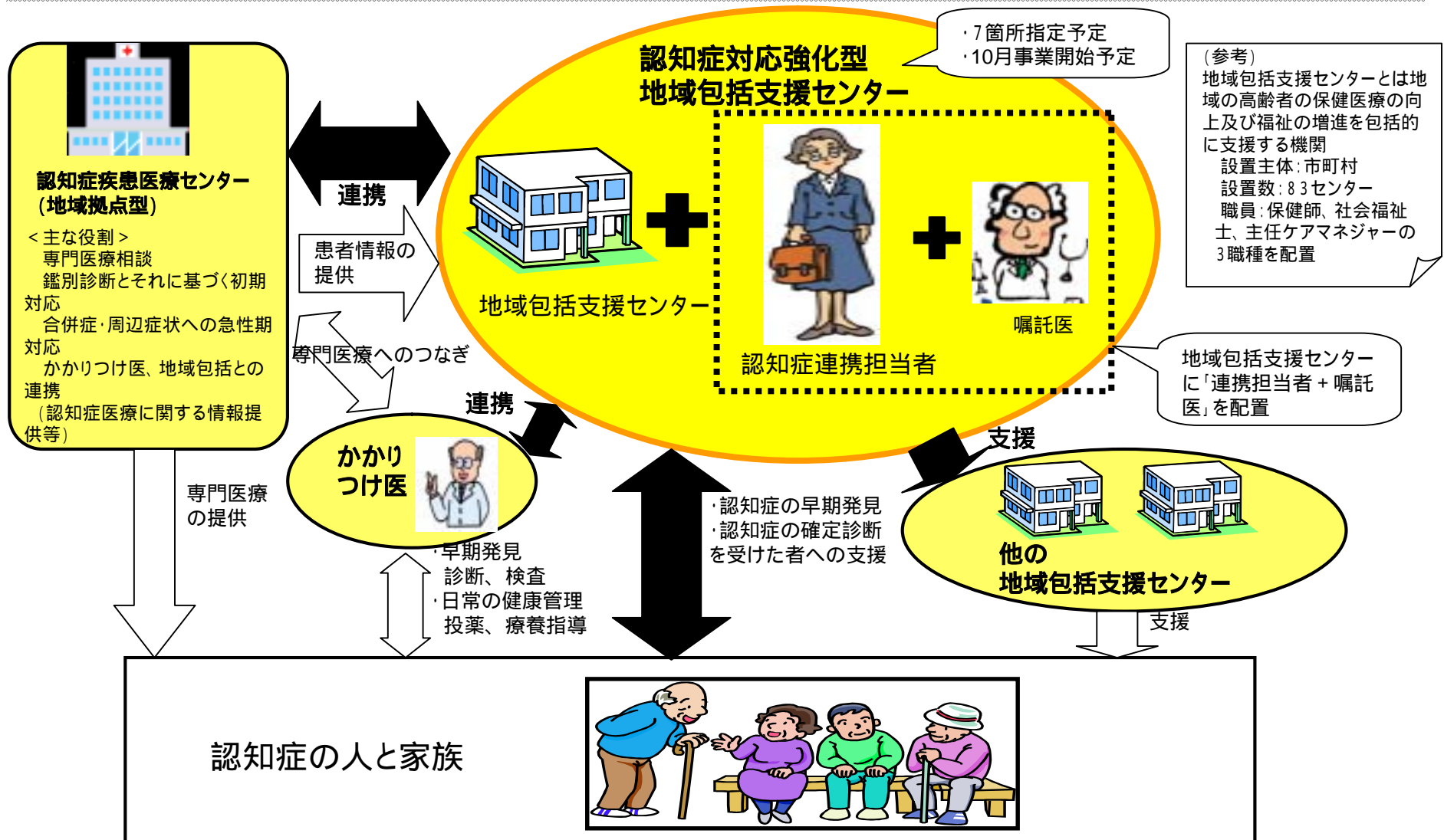
2 認知症疾患医療センター「熊本モデル」について

認知症高齢者等の効果的な早期診断・診療体制を構築し、県民がより身近な病院で相談・治療を受けることができるよう、地域での拠点機能を担う「地域拠点型」7カ所と、県全体を統括する「基幹型」1カ所の2層構造（「熊本モデル」）として整備。



4 認知症対応強化型地域包括支援センターについて

地域における認知症ケア体制と医療との連携体制を強化するために、医療センターに対応する「認知症対応強化型地域包括支援センター」を7カ所設置する。



県民から見た認知症総合対策の位置づけ(イメージ)

(参考)

新

